

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

福岡県

学校名

福岡県立糸島高等学校

人権課題

子供の人権

対象学年・
取り扱った教科等全学年
すべての教科等

目標・人権教育のねらい

学級をはじめ学校生活全体の中で、自らの大切さや他の人の大切さが認められていることを生徒自身が実感できるような学校づくりに努めることで、自分及びすべての他者をかけがえのない人間として尊重し、協力し合える人間関係をつくることことができる。

【価値的・態度的側面（人間の尊厳・価値の尊重）、技能的側面（コミュニケーション能力）】

実施した内容

「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組を進めるとともに、人権が尊重される学習活動（人間関係づくり、環境づくり）を通して、生徒一人一人、自分が大切にされていることを実感でき、安心して過ごせる学校づくりを推進した。

工夫した点

成年年齢に達した生徒も含め、生徒は人権課題「子供」の当事者であるという視点に立ち、家庭、地域、関係諸機関の連携を図りながら、教育上配慮が必要な状況に置かれている生徒の状況を的確にとらえ、生徒支援を行った。

他教科との
関連

特別活動（ホームルーム活動）
（2）－ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成

事業成果

アンケート（4件法）に肯定的・積極的な回答をした生徒の割合

知識的側面	実施前：71.9%	→	実施後：86.3%
価値・態度的側面	実施前：91.5%	→	実施後：94.7%
技能的側面	実施前：85.6%	→	実施後：90.4%

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

福岡県

学校名

福岡県立糸島高等学校

人権課題

同和問題

対象学年・
取り扱った教科等第2・3学年
特別活動（ホームルーム活動）

目標・人権教育のねらい

ホームルーム活動の目標

社会の形成者として、自らを生かした責任のある行動を取り、社会生活における課題の改善に向けて貢献する大切さに気付くことができる。

【（3）－ウ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の育成】

人権教育のねらい

部落差別をはじめ様々な差別問題を自らの問題として捉え、それらをなくすために何をしなければならないか、人間としての在り方生き方を考える。

【知識的側面、価値的・態度的側面（参加・参画）】

実施した内容

部落差別の解決に向けて取り組む方の思いや願いに触れ、差別をなくすための取組の歴史や就職差別・結婚差別の現実に学んだ。

工夫した点

ICT（フォーム作成ツール）を活用した交流活動（ペア交流・グループ交流）やふりかえりで、部落差別をなくすために大切な行動とは何かについて考える場面を設けた。

他教科との
関連

公民科 現代社会 （3）共に生きる社会を目指して

事業成果

アンケート（4件法）に肯定的・積極的な回答をした生徒の割合（2年生）

知識的側面 実施前：70.6% → 実施後：87.6%

価値・態度的側面 実施前：90.8% → 実施後：93.1%

技能的側面 実施前：82.2% → 実施後：88.1%

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

福岡県

学校名

福岡県立糸島高等学校

人権課題

ハンセン病患者等の人権

対象学年・
取り扱った教科等第1学年
特別活動（ホームルーム活動）

目標・人権教育のねらい

ホームルーム活動の目標

社会生活において、互いを尊重し合うことが重要であることを理解し、協力し合える人間関係を築くことができるようになる。

【（2）-ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成】

人権教育のねらい

新型コロナウイルス感染症の問題を通し、身近となった「感染症と人権」に対する理解を深め、自分及びすべての他者をかけがえのない人間として尊重することができるようになる。

【知識的側面、価値的・態度的側面（人間の尊厳・価値の尊重）】

実施した内容

ハンセン病問題の解決に向けて取り組む方のお話から、「らい予防法」のもとに、ハンセン病の患者・元患者やその家族の人権が侵害された現実に学んだ。

工夫した点

ハンセン病問題を「感染症と人権」というテーマで取り上げることで、新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別の問題と結びつけて考えることができるようにした。

他教科との
関連

保健体育科 保健 （1）ア（イ）現代の感染症とその予防

事業成果

アンケート（4件法）に肯定的・積極的な回答をした生徒の割合（1年生）

知識的側面 実施前：72.9% → 実施後：85.2%

価値・態度的側面 実施前：92.1% → 実施後：96.0%

技能的側面 実施前：88.4% → 実施後：92.3%

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

福岡県

学校名

福岡県立糸島高等学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等第1学年
特別活動（ホームルーム活動）

目標・人権教育のねらい

ホームルーム活動の目標

社会生活において、互いを尊重し合うことが重要であることを理解し、協力し合える人間関係を築くことができるようになる。

【（2）-ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成】

人権教育のねらい

インターネット上の人権課題に関する理解を深め、自分及びすべての他者をかけがえのない人間として尊重することができるようになる。

【知識的側面、価値的・態度的側面（人間の尊厳・価値の尊重）】

実施した内容

インターネットによるいじめやインターネットを介して巻き込まれるトラブル等の防止について、SNSの特徴やネット依存等の事例から学んだ。

工夫した点

情報通信事業者のスマホ安全教室インストラクターからオンラインで講義をしていただき、ネットの危険性を知るとともに情報モラルについて考えを深めるようにした。

他教科との
関連

情報 (1) イ 情報化の進展と情報産業の役割

事業成果

アンケート（4件法）に肯定的・積極的な回答をした生徒の割合（1年生）

知識的側面 実施前：72.9% → 実施後：85.2%

価値・態度的側面 実施前：92.1% → 実施後：96.0%

技能的側面 実施前：88.4% → 実施後：92.3%

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

福岡県

学校名

福岡県立糸島高等学校

人権課題

性的指向、性自認に関する
人権問題対象学年・
取り扱った教科等第1学年
特別活動（ホームルーム活動）

目標・人権教育のねらい

ホームルーム活動の目標

社会生活において、互いを尊重し合うことが重要であることを理解し、協力し合える人間関係を築くことができるようになる。

【（2）-ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成】

人権教育のねらい

性的マイノリティに関する人権問題に関する理解を深め、自分及びすべての他者をかけがえのない人間として尊重することができるようになる。

【知識的側面、価値的・態度的側面（人間の尊厳・価値の尊重）】

実施した内容

性の多様性について知るなかで、自分自身の無意識の思い込み・偏見に向き合い、性的マイノリティの人々をはじめ、あらゆる他者を尊重することの大切さについて理解を深めた。

工夫した点

LGBTQ当事者の方を講師として招き、当事者の思いや願いを知り、誰もが自分らしく生きるためにはどうしたらいいのか考えることができたようにした。

他教科との
関連

公民科 現代社会 （3）共に生きる社会を目指して
保健体育科 保健（2）ア 生涯の各段階における健康

事業成果

アンケート（4件法）に肯定的・積極的な回答をした生徒の割合（1年生）

知識的側面 実施前：72.9% → 実施後：85.2%

価値・態度的側面 実施前：92.1% → 実施後：96.0%

技能的側面 実施前：88.4% → 実施後：92.3%